

1 次案内（改訂版）

第 72 回全国中学校理科教育研究会 北海道大会

第 63 回北海道中学校理科教育研究会札幌大会

研究主題

「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、
豊かな未来を切り拓く理科教育」

大会主題

「学びの再構築を通して、自然との共生に向かう理科教育」

開催期日 令和 7 年 8 月 6 日（水）～ 8 日（金）

開催会場 札幌市教育文化会館 ホテルライフオー・札幌

主 催 全国中学校理科教育研究会 北海道中学校理科教育研究会

後 援 文部科学省 北海道教育委員会 札幌市教育委員会
全日本中学校長会 北海道中学校長会 札幌市中学校長会
北海道教育振興会 他

協 賛 日本理科教育協会 （社）日本理科教育振興協会
日本教育用理科機器協議会 北海道教育公務員弘済会
（財）東レ科学振興会 他

【研究主題】

「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」

【大会主題】

「学びの再構築を通して、自然との共生に向かう理科教育」

【大会主題設定にあたって】

予測困難なできごとが頻発する現在の変化の激しい VUCA 時代には、従来の概念を覆す新しい概念や価値観が登場するといわれている。また、グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させつつある。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育が直面する新たな課題が明らかになってきた。

OECD は複雑で予測が困難な世界を生き抜くために、各教科で学んだ知識を融合して考え、知識の有用性を具体的に検証したり、習得した知識を問題解決に活用したりすることや、既習の知識を未知の状況に適応させるためのスキルが必要であると述べている。また、これらの知識やスキルの適切な活用は、探究への意欲や他者への信頼、考えの多様性や美徳の尊重など態度や価値のもとでなされるとしている。

このような知識、スキル、態度と価値は、相互に結び付いて私たちの社会を変革し、未来を創るための力として機能していく。理科教育においては、学びの中で獲得した知識を身近な生活の中に見いだしたり、知識と知識を結び付けて自然の事象に重ね合わせて自然を理解し、多面的、総合的に捉えたりする必要がある。また、未知なる問題に直面した際にも解決に向かえるように、自らの学び方を更新していく必要がある。

今大会では、これからの未来を切り拓き、地球という閉鎖系の中で自然とともに生きる私たち人間の在り方を正しく判断できる生徒の育みを願って、大会主題「学びの再構築を通して、自然との共生に向かう理科教育」を設定した。全国各地で行われている様々な角度からの研究実践が、大会を通して議論され、未来を切り拓く生徒たちに還元されることを期待している。

【開催期日・会場】 令和7年8月6日（水）～8日（金）

札幌市教育文化会館 ホテルライフオーポート札幌

【日 程】

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会	ブランチ打合		レセプション	
								若い理科教師の集い			
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表		分 科 会 (4分科会) (210分:20分×6部+90分)					
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教 育 視 察)						

【若い理科教師の集い】 8月6日（水）16:30～

～集まれ！全国の若い理科の先生！～

前回の全中理北海道大会、昨年の東京大会に引き続き、「若い理科教師の集い」を開催します。20歳代、30歳代の若い理科教師が集まり、親交を深めませんか。若手ならではの斬新な授業のアイデアや実践の交流、授業や学級経営などでの苦労を共に語り合い、これからの活躍の糧にしましょう。全国の若手理科教師の輪をつくる集いにしたいと思います。企画・運営は北海道の若手理科教師が担当します。詳細は2次（最終）案内でお知らせします。

【分科会】

分科会名	分科会主題と発表担当ブロック
第1分科会 教育課程	「自らの学びを再構築し、科学的に探究する資質・能力を育む 教育課程」 【発表担当ブロック】 北海道、東北、関東・甲信越、東京、中部、中国・四国
第2分科会 学習・評価	「理科の見方・考え方を働かせ、自らの学びを再構築する 学習指導と学習評価」 【発表担当ブロック】 北海道、関東・甲信越、東京、近畿、九州、私立・国立等
第3分科会 観察・実験	「自らの学びを構想し、科学的に探究することができる観察・実験」 【発表担当ブロック】 北海道、東北、近畿、中国・四国、九州、私立・国立等
第4分科会 環境教育	「自然を多面的・総合的に捉え、自然との共生に向かう環境教育」 【発表担当ブロック】 北海道、東北、中部、近畿、九州、私立・国立等

【講演】

■ 文部科学省講演

- ・文部科学省 初等中等教育局 教科調査官(予定)
(国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官)

■ 記念講演

- ・榎戸 輝揚 氏 (京都大学 理学研究科 物理学准教授)
- ・演題 「触れる科学でつなぐ次世代への学術研究と理科教育」

北海道(札幌)出身の宇宙物理学者。シチズンサイエンスで雷の謎に挑む雷雲プロジェクトや、X線天文学、宇宙線で月の水探しや月面天文台など、最新の話題について御講演いただく予定です。

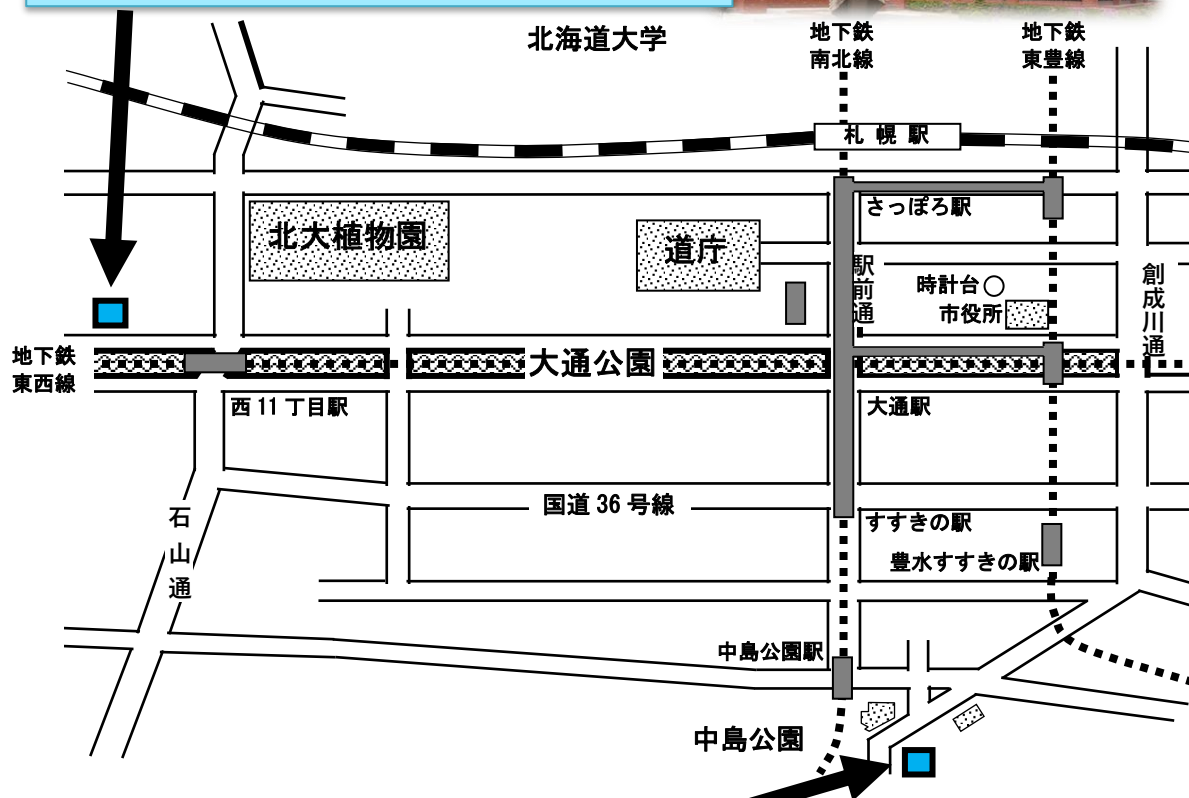


【大会会場周辺図】

【札幌市教育文化会館】

札幌市中央区北1条西13丁目 (TEL 011-271-5821)

- ・地下鉄：南北線「さっぽろ駅」より真駒内行きに乗車、「大通駅」で東西線宮の沢行きに乗り換え「西11丁目駅」下車、1番出口から徒歩5分



【ホテルライフオート札幌】

札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 (TEL 011-521-5211)

- ・地下鉄：南北線「さっぽろ駅」より真駒内行きに乗車、
「中島公園駅」下車、1番出口から徒歩3分



【連絡・問合せ先】

第72回全国中学校理科教育研究会北海道大会運営委員会

運営委員長 古川 恵美子（札幌市立平岡緑中学校校長）

〒004-0882 札幌市清田区平岡公園東9丁目 11-1

TEL. 011-888-3110 FAX. 011-888-3113

E-Mail emiko.furukawa@city.sapporo.jp

事務局長 野田 隆之（札幌市立北都中学校長）

〒003-0869 札幌市白石区川下 749-56

TEL. 011-872-5201 FAX. 011-872-4596

E-Mail takayuki.noda@city.sapporo.jp